

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/02/21号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

円建てゴールドは歴史的 high に並ぶ

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ゴールドの上昇が止まりません。前週は一時1900ドルを超える場面がありました。ロシア-ウクライナ情勢による地政学リスクの高まりから一挙にゴールドに非難資金が集中したと言えます。円建てでも7000円を超えて、高値は7031円。これは2020年8月7日につけた歴史的 high と全く同じ high です。ここで止まったのは非常におもしろい偶然と言えるでしょう。月曜日にはロシア軍一部撤退のニュースが流れ1880ドルから1850ドルまで下げる場面がありましたが、逆に下がったところはいち早く拾われました。ウクライナ情勢がまだまだ不明瞭な今、円建てゴールドが歴史的 high を更新する可能性は十分あると思います。ただ日本では、さすがにこの high では利食いの売りが多く出ているようですが、現場の声では売りばかりではなく、まだまだ上がるだろうという見方から買いも多いということです。これまでゴールドに投資をしていなかった投資家たち、特に若い投資家は今から買う人々も多いようです。これだけのインフレの高まりに彼らも真剣にインフレに対する対策を考えているのでしょう。今週、米国の国務長官とロシア外相が欧州にて会談する予定ですが、それがはたして状況を改善させることができるのかどうか、マーケットは注視しています。現在、このウクライナ情勢そして40年降りのインフレと、二重の材料でゴールドが上昇しています。もちろん地政学リスクはそれが解決するとその分は削られますが、もっとファンダメンタルズになるインフレはそんなに簡単に解決ができるような状況ではなく、ゴールドはたとえウクライナ情勢の緊張緩和があっても大きく下げる事態にはならないのではと考えます。先週、ゴールドにとっては「パーフェクトストーム」状態だと書きましたが、それまだまだ続きそうです。

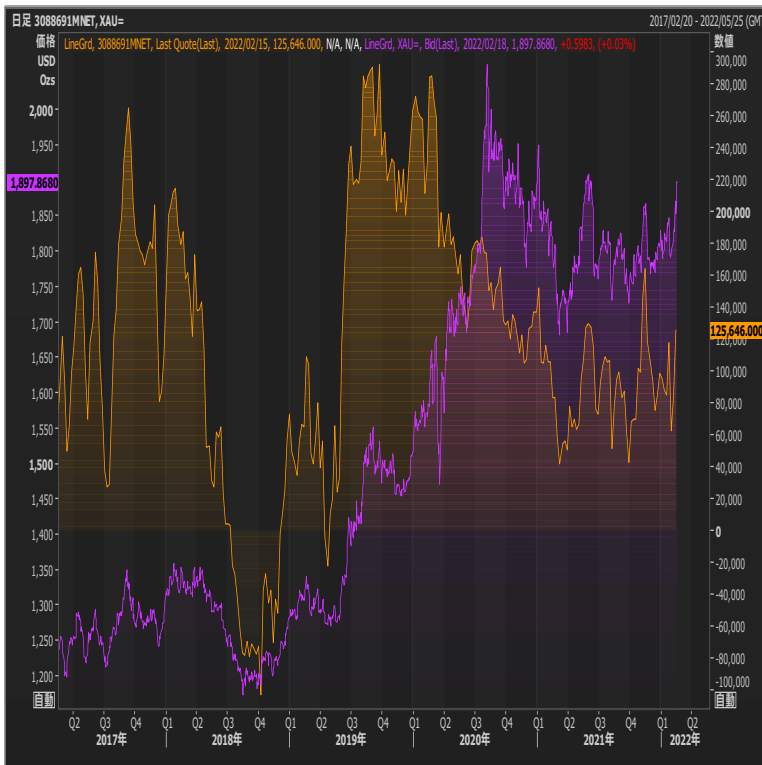
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

世界の先物市場

Comexが世界の先物市場のみならず、ゴールド市場の中心であると説明しましたが、世界にはまだほかにも先物市場があります。その代表的なものは日本のOSE（元Tocom）そして中国のSHFE（上海期貨交易所；Shanghai Futures Exchange）、そして厳密な意味では先物取引所ではなく、現物の先渡し取引であるSGE（上海黄金交易所；Shanghai Gold Exchange）、インドのMCX（Multi Exchange）などがあります。世界各地でゴールドの先物取引は上場が試みられてきましたが、Comexが先行者で成功したために、ほかの先物取引所はことごとく鳴かず飛ばずとなりました。ドル建ての先物取引はComexで十分なのです。その中で日本や中国そしてインドの取引所は独自のローカルなインタレストを背景にComex以外では例外的に成功しているゴールドの取引所取引です。

(Comex投資家ポジションとゴールドの動き)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

